

# 屋上生まれ カモのヒナ守れ!

## 江東版



### 江戸川の 生徒がカラスよけ小屋

江戸川区の区立小岩第三中学校の屋上で生まれたカルガモのヒナを天敵のカラスから守ろうと、生徒らがネットを張った小屋を作るなど奮闘している。屋上では昨年もヒナが生まれたが、1羽も巣立たなかっただけに、生徒らは「今年は無事に巣立ってほしい」と、祈るような気持ちで見守っている。



だが、校舎周辺の街路樹

●校舎の屋上の仮小屋でカルガモ親子を見守る生徒ら(左)校舎の屋上で暮らすカルガモの親子

などには、天敵のカラスの巣が幾つもあり、見晴らしの良い屋上は絶好の狩り場。小高さんは、顧問を務める生物環境部の生徒十数人と、屋上に簡単な小屋(縦7尺、横6尺、高さ1・8尺)を建て、カラスの侵入を阻むためにネットで覆った。

それでも今月2日夕、親鳥が離れたスキを狙って10羽ものカラスが小屋を取り囲み、体長10センチほどのヒナをじっと見ながら「カーカー」と鳴いていた。襲われることはなかったが、パニックを起こして小屋の隅で縮み上がっていたヒナ4羽が、そのストレスのせいか、死んでしまったという。

実は、屋上では昨年も約10羽のヒナが生まれたが、カラスなどの影響か、1羽も巣立たなかった。「今年こそは」。そんな思いで生徒たちは、観察日記を付けたり、水を取り換えたりして成長を見守っている。カルガモの習性もインターネ

ットで調べて勉強した。3日の放課後、死んだヒナを校舎のそばに埋めた3年生の渡辺義久君(15)は「野鳥なので、人に慣れすぎないよう餌やりなどには気をつけてきたが、死んだのは残念。何とか、残りのヒナだけでも無事に巣立ってほしい」と話していた。

江東支局  
墨田区江東橋  
2の13の4  
錦糸町シティビル  
〒130-0022  
電話  
(3631)6116-8  
FAX  
(3632)2530  
koto@yomiur  
i.com

広告連絡  
(5226)9925

購読申し込み  
フリーダイヤル  
0120-4343-81